

松本押絵雛製造工程

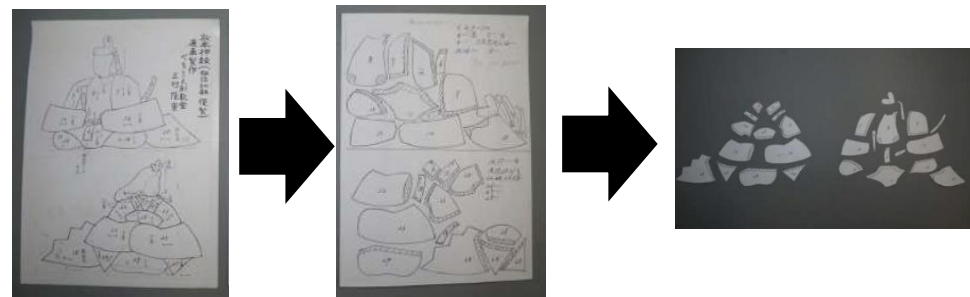
【主要原材料】

名称	成分・特徴 等
①型紙	人形の耐久性を向上させるため、型紙は厚紙を使用する
②綿	未晒しの綿は繊維が長く、ふくらみが表現しやすい
③布地	本絹（金襴、綸子等パーツに合った布地を選ぶ）
④粉糊	もち米を水で溶いて練って作る 接着力が強すぎず布を傷めない
⑤ドーサ液、 胡粉、顔彩	膠とミョウバンを水に溶かしたもの 貝殻を主原料とした顔料 顔用の布地に塗り、顔彩を滲みにくくする
⑥竹串、和紙	組み立てた人形の背後に竹串を通し、和紙で裏打ちする ことで押絵雛の耐久性が向上する

【製造工程】

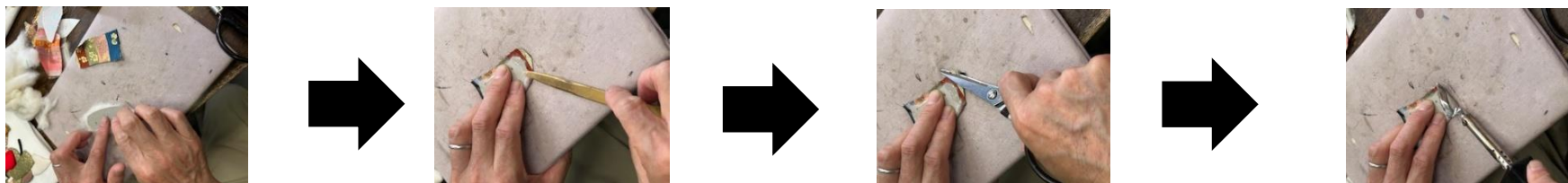
1 下絵（元絵・分解図）作成、型紙カット・・・材料①

下絵（元絵・分解図）を描く。型紙に分解図を貼り、カット。



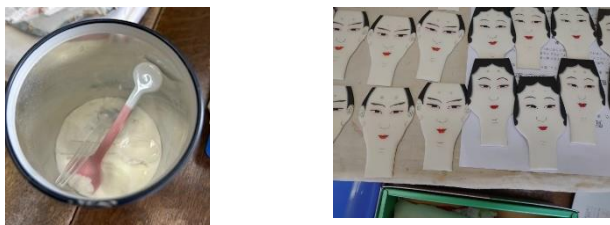
2 布地に型紙と綿を入れて包む・・・材料②、③、④

型紙に合わせ布地をカットし、金ベラで布地と型紙の間に綿を入れる。型紙の曲線に沿ってハサミで切れ込みを入れる。布地を折り込み、電気ごてで糊付け。



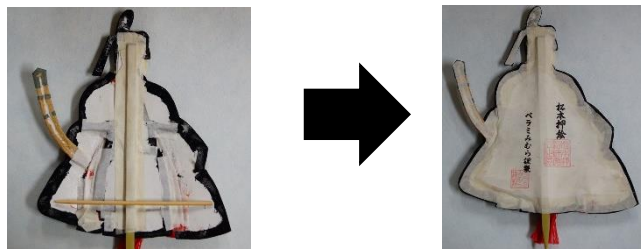
3 顔描き・・・材料⑤

顔用の布にドーサ液を塗り、乾燥後に胡粉を塗る。再び乾燥させた後、膠を混ぜた顔彩で顔描き。



4 組立・・・材料⑥

完成したパーツを組み立て、人形の背後に竹串を通し、和紙で裏打ちをする。



完成